

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体	指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言
			評価 S～C		評価 S～C	
平等 利用 が確 保さ れる よう 適切 な管 理を 行な うた め の方 策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	<p>設置目的の「体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、文化的な集会及び催し物の場を提供」を果たせるよう施設運営を行った。また、安心安全の確保のため緊急事態訓練や施設設備整備に取り組んだ</p> <p>4月～9月利用者数275,213名、 10月～3月利用者数（見込）266,411名 年間利用者総数541,624名（前年比95%）</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>門真スポーツセンター条例に記載のある設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの新興を図り、併せて文化的な集会及び催し物の場」を適正に提供している。</p> <p>メインアリーナにおいては、水泳の全国大会、学校の運動会、またアイスショーの利用等メインアリーナの転換に応じた利用がなされている。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A
		②提案した管理運営方針に沿った管理	<p>1 施設を活用するため各種スポーツ教室及び文化教室を実施 スポーツ教室 ・講座数：23 文化教室 ・講座数：4</p> <p>2 周辺行政と連携し、プール補助券販売を行う 門真市発行数11,000枚 利用7,793名 （前年差-105名）収入1,696千円 寝屋川市発行数15,000枚 利用2,514名 （前年差+171名）、収入2,834千円 大東市発行数3,000枚 利用3,009名 （前年差-1,679名）収入716千円</p> <p>3 職員の一般及び専門知識向上のための各種研修を実施 別紙研修実績等参照</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>1 施設の特性を活かした各種スポーツ教室や文化教室を実施し、府民のスポーツ振興に貢献している。 しかし、当初計画の受講者数に達することは難しい状況であり、より魅力のある教室の展開や広報活動にこれまで以上に取り組む必要がある。</p> <p>2 プール補助券の実施においては周辺3市と引き続き連携が取れている。</p> <p>3 人件研修をはじめコンプライアンス研修、セクハラパワハラ研修、個人情報保護に関する研修、防災訓練の実施を計画的に実施している。</p> <p>（評価点：2点）</p>	A
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	<p>1 府政学習会への協力（府推奨のめっちゃWAKUWAKUダンス指導を実施） 参加者39名 大半の参加者よりご好評をいただいた （アンケートより）</p> <p>2 「アクティブシニアパートナー」への参加 4月～9月参加数9名</p> <p>3 周辺中学校からの職場体験受入 茨田中学校 2名 6月8・9日、 住道中学校 2名 9月5・6・7日</p> <p>4 自主内部監査の実施 9月4日実施 指摘事項 3項目指摘あり 指摘1 PCの個人情報ファイルにPW未設定のものがあった。 指摘2 券売機釣銭金に記録記載に漏れあり 指摘3 釣銭金・個人情報施錠保管チェックリストにチェック漏れあり</p> <p>5 プライバシーマークを取得（代表企業+スポーツ全社） スタッフの個人情報取り扱いへの意識向上に繋がった</p> <p>6 エネルギー管理基準の作成と推進委員会の実施 事業体内定例会議にて、団体構成各社で情報共有化を図り、省エネ意識向上に繋がった</p> <p>（評価点：3点）</p>	A	<p>1 保健体育課が行う「子どもの体力向上サポート事業」において、小学校に出向き児童にダンスの指導を行い、子どもの体力向上活動に貢献している。</p> <p>2 シニアの方々が豊かな人生を送り、積極的に社会参加される「第二の活躍」を応援する府福祉部が事業展開しているアクティブシニアのパートナー施設として登録し、毎月15日にシニアへの利用料の割引を実施している。</p> <p>3 周辺中学校2校の職場体験を受入れ、メインアリーナの転換作業等の体験学習に協力している。</p> <p>4、5 法令遵守の取組みとして各種コンプライアンス研修や自主内部監査を実施するとともに、個人情報の取扱いへの団体としての意識向上に努めている。</p> <p>6 環境活動として、事業体構成団体が情報の共有化とともに、省エネ意識の向上を図っている。</p> <p>（評価点：3点）</p>	A

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体	指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	
			S～C		S～C	
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	① 公平なサービス提供、対応状況	<p>1 公平なサービスを提供するため、代表企業オージースポーツ経営理念、行動基準を毎日の朝礼で唱和し、職員の意識を一定に保ち、その理念、行動基準に沿って全ての利用者に対応している。職員に対する接客研修を実施し、対応力向上に努めている。 接客研修4～5月 3回実施済み</p> <p>2 プールにおいて無料でどなたにでも参加できる「ワンポイントレッスン」を実施した 参加実績 4月6回38名、5月4回40名、6月4回41名、7月4回23名、8月4回24名、9月6回54名</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>1 接客研修を実施し、職員の対応力の向上に努めており、本取組みが施設を利用する方々の満足度を向上させる一因となっている。 また、コンプライアンス研修を実施することで公の施設に必要な公平性を確保することに繋がっている。</p> <p>2 だれでも参加可能なワンポイントレッスンの実施により、老若男女を問わず水泳の能力向上を図ることが可能であるとともに、無料であることから利用者が気軽にステップアップ等のコツを学べる制度として非常に有効である。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	評価委員会の指摘・提言
	② 高齢者、障がい者等に対する配慮	<p>1 高齢者利用補助・・・府政策「アクティブシニアパートナー」として、利用料補助、健康運動指導士資格者配置 行事案内における「アクティブシニアパートナー」の告知を行っている 健康運動指導士資格者数・・・8名</p> <p>2 障がい者利用補助・・・障がい者、介助者の利用料・駐車料減免、障がい者スポーツ指導資格者配置、貸し出し用車椅子配置 障がい者利用者数 トレーニング室利5,338名（前年比92.9%） プール利用3,436名（前年比89.4%） 障がい者スポーツ指導員資格者数2名</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>1 府福祉部が事業展開しているアクティブシニアのパートナー施設として登録しているとともに、健康運動指導士資格者を配置し、高齢者に対する配慮を実践している。 平成28年度健康運動指導士資格者数 7名 平成29年度同資格者数 8名</p> <p>2 貸し出し用車椅子の配置、減免を実施するとともに、障がい者スポーツ資格者を2名配置するなど障がい者に対する配慮を実践している。</p> <p>(評価点：3点)</p>		
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	<p>1 施設を利用しやすくするため、駐車料金改定を実施（1時間380円を30分150円、当日最大1,500円の新たに設定） 7月利用台数4,047台、売上1,921千円（前年-132台、-909千円） 8月利用台数4,833台、売上2,768千円（前年+1,101台、+124千円） 9月利用台数4,395台、売上2,540千円（前年+1,217台、+283千円）</p> <p>2 駐車場料金1時間無料サービス8月より開始（トレーニングルーム・プール・卓球の一般利用者及び教室参加者、レストラン利用者対象） トレーニング31,336名（前年比106%） プール26,272名（前年比103%）</p> <p>3 毎年恒例の「なみはやスイムフェスティバル」を開催 8/20開催416名参加</p> <p>4 プール一般利用増加を目的に「プールキッズデイ」を開催し親子連れの利用者拡大を図った 4/15（土）・6/10（土）・7/1（土）・9/9（土）開催し、 341名参加（前年+52名）</p> <p>5 トレーニングルーム・プールでのサービスプログラムを継続実施（「からだ充実体操」新規プログラム導入） トレーニング31,336名（前年比106%） （前年差+1,780名）</p> <p>6 専用利用の利用率向上のため、空枠の営業活動を行った 過去利用団体へアプローチを行い、施設利用促進を行った</p> <p>(評価点：4点)</p>	S	<p>1 平成29年7月に、駐車料金において1日最大料金（上限）制を新たに設定するなど、車利用者にとって利用し易くなる改定を実施。これにより、今まで近隣の他の駐車場を利用されていた施設利用者が、施設の駐車場を利用していただけるようになった。</p> <p>2 上記1に加えて、8月からトレーニングルーム、プール等を利用された方への駐車場1時間無料サービスを実施し、利用者増を目指した方策を着実に実施している。</p> <p>3～6 毎年実施している「なみはやスイムフェスティバル」、「プールキッズデイ」の開催やトレーニングルーム・プールでのサービスプログラムを実施し、着実に前年の参加者数を超える状況となっている。</p> <p>(評価点：4点)</p>	S	<p>駐車場に最大料金制を設けたのは素晴らしい。これからも継続していくこと。</p>

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体	指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		
		評価 S～C		評価 S～C		
I 提案の 履行状況 に関する 項目	施設 の効用を 最大限発 揮するた めの方策	②年間の広告・広報計画等の情報発信の 取組み 【指標】利用者数 平成28年度実績：536,197人 平成29年度見込：525,021人 9月末現在実績：275,213人	1 広報PRのためマスメディアからの取材、撮影協力の積極的な受入れ 4/13KBS京都TV取材、 6/20テレビ朝日「報道ステーション」取材、 6/21シンクロ日本代表チーム公開練習各マスコミ取材 2 近隣施設、自治体へ「月間行事案内」毎月発行 大阪府内各自治体、学校関係、各種競技団体等453ヶ所へ 毎月、行事案内を送付 3 地下鉄門真南駅掲示板に使用施設情報を発信し、乗降客へのPRを行った 駅掲示板の掲示物を最新の情報に更新し、乗降客へ施設の 情報提供ができた 4 ホームページ情報内容を頻繁に更新して情報発信に役立たせた ホームページ「新着情報」を適宜更新し、情報鮮度を維持 した 5 「WEBチラシ」春季実施 4月新規教室受講生募集広告をWEBにて掲載 6 会議室検索サイトへの継続掲載実施 「会議室.COM」4～9月アクセス数1,563件 (評価点：4点)	B	1～6 マスメディアからの取材や撮影協力、近隣施設や自治体 への月刊行事案内の配布、駅掲示板の掲示、Webを使った広 報活動を着実に展開している。 また、7月から放送されたアニメ「DIVE!!」に登場する 飛び込み台等の施設の登用やエンドロールに愛称が表記され た。 今年12月にアイススケートリンクの利用に向けて、関西 ウォーカー（Kansai Walker）の表表紙の裏面1面に宣伝広告を 掲載する予定であり、情報発信の取組みを実施している。 (評価点：4点)	評価委員会の指摘・提言
		①提案のあったサービス向上策の取組み	1 業務推進委員会・設備連絡会において関係者間で意見交換し、各部門間の連携強化を 図った 業務推進委員会・設備連絡会議・設備修繕会議を月1回、 運営者ミーティングを週1回開催し、課題解決及び問題 点の共有化を図った 2 有資格者の配置を継続 健康運動指導士 8名、 健康運動実践指導者 1名、 障がい者スポーツ指導者 2名、 体育施設管理士 2名、 木製床管理者 1名を配置 (評価点：3点)		1 指定管理者グループ構成員が集う業務推進委員会・設備連絡 会議等を定期的に開催し、各社連携をとり、利用者へのサービ ス向上に繋げている。 2 各種有資格者を継続的に配置し、それぞれの資格に合わせた サービス等を展開し、利用者の満足度を満たすべく努力を続け ている。 (評価点：3点)	
		(4)サービスの向上を 図るための具体的手 法・効果	②自主事業の取組み 1 スポーツ教室、文化教室を28年度に引き続き開催 スポーツ教室 ・講座数：23 文化教室 ・講座数：4 2 自主事業収入プロポーザル額（比率） ・物販販売・・・8,984千円（83%） ・スポーツ教室収入・・・30,503千円（82%） ・文化教室収入・・・7,286千円（3%） ・施設広告収入・・・1,513千円（152%） ・マンツーマントレーニング収入・・・804千円（249%） ・大会イベントサポート事業・・・6,831千円（101%） (評価点：2点)		B 1～2 自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を前年度に引 き続き開催している。 しかしながら、スポーツ教室及び文化教室共に前年度実績を 下回る見込みであり、特に文化教室においては当初の計画から 大きく下回る利用者見込みとなっている。 なお、教室を除く広告収入やマンツーマントレーニング収入 等については、計画を上回る見込みとなっている。 教室の利用促進の手法を早急に検討する必要がある。 (評価点：2点)	

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	③施設設備、機能の活用	1 複数の競技大会、イベント等を同日実施し、複合施設機能を発揮した 2 プール可動床機能があることで、シンクロ日本代表合宿を受け入れた (評価点：2点)		1～2 施設の中心となるメインプール、メインアリーナ、メインリンク、サブアリーナ、サブプールの利用率は高い。 特にメインプール、サブプールにおいては、可動床により、同時に複数の目的別利用が可能であり、施設機能を十分理解し活用している。 (評価点：2点)			
	①施設設備の効果的な維持管理	施設・設備維持管理基本方針に則り、資産の長寿命化と機能維持につとめる 国際品質管理基準（IS09001）に基づく施設管理を完全実施 (評価点：3点)		施設修繕会議を定期的に開催し、施設の現状と問題点や課題等を共有し、効果的な維持管理の方策を実践している。 プールで使用した水をトイレの排水用水に利用したり、夏場の空調機や電気量軽減のため、ブラインチラー（製氷機）を活用するなど、施設設備を効率的・効果的に活用している。 (評価点：3点)			
	②施設設備の安全管理	設備の日常巡視点検、定期点検により正常な状態を把握し、不具合をできる限り早く察知し対処する 「設備機器定期点検実施管理表」、「設備機器法定点検及び環境衛生業務実施管理表」を作成し、記録保管している (評価点：3点)	A	日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図るとともに、不具合が発生した場合の情報共有機能や対処についての体制も整備されている。 (評価点：3点)	A		
	③緊急時の危機管理体制	1 危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している 2 年間通じ、定期的な消防訓練、緊急訓練を確実に実施し、緊急時対応の技術を維持する 3 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者、職員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるようマニュアルの整備、訓練を実施するマニュアル把握と危機対応行動が平準化できた (評価点：3点)		1～3 地震・火災・水害に加え、新たに弾道ミサイルが発射された際の全国瞬時警報システム（Jアラート）が発動された際の利用者の避難誘導等の緊急時対応についてもマニュアルに加えるなど、体制整備を行っている。 (評価点：3点)			
	①広告収入等の収入確保策の取組み	これまで行ってきたホームページバナー広告、月間行事案内広告事業に加え館内壁面広告を実施 バナー広告：36件×741千円 月間行事案内広告事業：18件×339千円 館内壁面広告：8件×106千円 (評価点：2点)		従来から実施していた月間行事案内及びHPバナー広告への広告掲載がされており、収入確保策の取り組みがなされている。 また、新たに壁面広告の収入を実施し、更なる収入確保に繋げている。 (評価点：2点)			
	②提案どおり実施されているか。	壁面広告の実施 収支額のポロポール対比 152% ・収入 ポロポール：2,007千円 H28見通：2,300千円 メインアリーナ大型映像広告掲載実績無し (評価点：2点)		提案どおりの収入計画項目は実施しているが、実績の見込み額が計画額に満たない状況である。更なる収入確保策を講ずる必要がある。 (評価点：2点)			
(6) 収入確保策の実施			B		B		

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み 1 「まいど子どもカード」利用料金割引実施（総額から100円割引） 4月～9月まで10件利用 2 「アクティブシニアパートナー」で利用料金割引実施（プール、トレーニングの一般利用500円に割引） 行事案内5月号・6月号に案内掲載 3 府各部署からの啓発掲示物の掲示協力 大阪府各部署関係の掲示物を継続的に掲示している 4 大阪マラソンや880万人訓練等府催事の協力 府催事の告知、訓練参加を行っている 5 門真警察の防犯啓発ポスター、守口市門真市消防組合消防本部の防火啓発ポスターの掲示協力 6 公募型府政学習会への協力 9月9日（土）開催済み、39名の参加 7 大阪府子どもの体力づくりサポート事業への協力 6/7、6/13諸福小学校4名派遣。 8/1、9/6、9/27四宮小学校5名派遣 （評価点：3点）	A	1～7 府福祉部の施策である「まいど子どもカード」や「アクティブシニアパートナー」、府民文化部の施策である「大阪マラソン」、政策企画部の施策である「大阪880万人訓練」、教育庁の施策である「子どもの体力づくりサポート事業」、門真警察署や消防組合等各分野種々の事業に積極的に協力している。 （評価点：3点）	A		
	②行政の福祉化の取組み	1 C-STEPへの継続加盟 2 地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業からの雇用活動実施 過去採用実績2名（内1名現在も継続雇用中） 3 共同事業体各社雇用率 オージー2.09%、関電FA1.96%、 パティネ3.17% 4 知的障がい者雇用（2名）を清掃職員として採用 昨年度から2名が継続して従事している （評価点：3点）	A	1～4 C-STEPへの加入、知的障がい者の清掃現場就業等提案どおりの取組みがなされている。 （評価点：3点）	A		
	③市民・NPOとの協働の取組み	大阪府高齢日雇労働者就労自立支援事業で、NPO 釜ヶ崎支援機構と協働で当施設敷地内除草作業の実施 実施期日：5/9（火）、9/12（火） いずれも対象者22名で実施 （評価点：3点）	A	NPOとの協働の取組み実績あり。 （評価点：3点）	A		
	④環境問題への取組み	1 エネルギー管理：日々の光熱水の使用量推移を確認し、異常発生した場合に早期発見の手立てにする 2 節水取組み：雨水活用・女子トイレへ擬音装置を設置する 3 節電取組み：LED化・間引き照明・インバータの導入 4 資源リサイクル取組み：ゴミ分別化徹底 （評価点：3点）	A	雨水の活用、女子トイレの擬音装置の設置、LED化等省エネ対策を引き続き実施している。 （評価点：3点）	A		
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 (評価点：3点)	利用者満足度調査 専用利用・・・利用希望調整時に実施 個人利用・・・毎年3月に実施 専用利用希望調査表と共に各利用団体様へ10月10日 送付済。12月末までに回収予定。 個人利用は年度末3月に実施予定	A	専用利用の団体及び個人の利用者に対して毎年アンケートを実施している。 (評価点：3点)	A	
		②調査結果のフィードバック（PDCA） (評価点：3点)	アンケート結果は必ず集計し、結果を職員が共有して各エリア運営に反映する アンケート以外で直接的に寄せられた意見、要望も同様に職員内で共有し、緊急性、影響度を考慮して優先順位をつけて対処する	A	利用者からの意見、要望を集計し、各種改善に生かしている。 大会関係者からの要望があった、昼食の手配をレストランと連携して実施するなど活かしている。 (評価点：3点)	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 H28実績：4,564人、上半期実績：2,441人 H29目標：5,554人、上半期実績：2,127人 〔指標2〕自主事業収入状況 H28実績：62,642,662円 上半期実績：22,853,364円 H29目標：60,742,000円 上半期実績：22,875,896円	1 トレーニングジムにて更に専門性の高いメニューを提供する目的で、マンツーマントレーニングのプログラム増設 障がい者を含むアスリート向けのマンツーマントレーニングへの参加数34名（4～9月） 2 レストランと連携し、団体利用の昼食手配や食事を案内実施および催し物の開催 大会時の軽食販売の斡旋や仲介を行うことで、団体利用者へのサービス向上に繋がった。 レストランでのフラメンコギター開催のPR実施（参加者40名） (評価点：3点)	A	トレーニングジムにおいて、障がい者を含むアスリート向けのマンツーマントレーニングを実施し、専門性の高いメニューを提供するなどさらなるサービス向上の取り組みを実施している。 また、施設内のレストランとの連携により利用者から要望のあった大会時の弁当等昼食の手配やフラメンコギターを開催する等利用者の要望に対する対応も実施している。 (評価点：3点)	A	
(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	1 メインアリーナ更衣室内ロッカー破損箇所の補修および、利用しやすくシリンダー移動させた 破損しているロッカーの補修及びサブプールで使用していたロッカーシリンダーを活用することで 費用抑制に繋がった 2 メインアリーナ観客席の前列席は常時チェーンにて封鎖し、利用者への安全なご利用を勧めた 観覧時に観覧席の前列からの落下防止に繋がった (評価点：3点)	A	費用抑制のため、廃棄ロッカーの部分再利用の実施やメインアリーナ観客席における利用者の安全性の配慮を実施している。 (評価点：3点)	A		
II 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）	A	
(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕H29収支計算書（プロポーザル） 収入：569,271千円、見込：529,215千円 支出：569,271千円、見込：553,357千円 納付金：0千円、見込：-24,142千円	事業収支及び見込み 《平成29年度：対プロポーザル比》 収入：93% 支出：97% 納付金：0% (評価点：3点)	A	収入見込みは前年度対比では98.1%、平成27年度収入実績567,121千円、平成28年度収入実績539,408千円と毎年前年度実績を下回っており、平成29年度の収入見込みから3年連続の減収となる。 支出見込みは前年度対比では99.0%、平成27年度支出実績557,341千円、平成28年度支出実績558,730千円と平成29年度の支出見込みからほぼ3年変わらない支出となる。 収入計画の確実な遂行に向けた取り組みが必要である。 (評価点：2点)	B		

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会 の指摘・提言	
		評価 S～C		評価 S～C			
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	プロポーザルの提案通りに各部署で配置を行う 運営（事務室・トレーニング・プール・アイススケート・案内）常勤17名（非常勤66名）、 設備管理 常勤8名、警備 常勤7名、清掃 常勤3名（非常勤10名） (評価点：3点)		A	プロポーザルどおり適切な人員配置が行われているとともに、管理監督体制及び責任体制が明確にされている。 (評価点：①3点、②3点)	A	
	②管理監督体制・責任体制	管理体制 ・全体責任：オージースポーツ ・施設管理：関電ファシリティーズ ※施設管理には、警備、清掃を含む ・スケートリンク設営管理：パティネレジャー (評価点：3点)					
	③指導育成、研修体制	休館日を利用し、全体安全訓練を中心に研修、スキルアップを図っている 運営MT、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度改善することができた (評価点：3点)					従事者の指導育成については、研修の実施等適正に行われている。 (評価点：3点)
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 1 オージースポーツ経営概要 売上高 15,635百万（前期） フィットネスクラブ、テニスクール等各種スポーツ施設運営を行う 直営フィットネスクラブ（コス・パ）26店舗、 直営スミング・カルチャースクール（SENRITOよみうり）1店舗、 直営女性専用スタジオ（STUDIO be）1店舗、 直営女性専用フィットネスクラブ（RICO）1店舗、 直営テニスクラブ（コス・パ）8舗、 直営サッカークラブ（コス・パ）1施設、 指定管理・運営受託施設 11施設 2 関電ファシリティーズ経営概要 売上高 24,558百万円（前期） 施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う 3 パティネレジャー経営概要 売上高 3,504百万（前期） 全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う (評価点：3点)		A	構成企業を含め運営基盤は概ね安定している。 (評価点：3点)	A	
	②法人等事業者の財務状況	事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業OGS（平成28年度実績） 売上：15,635,957,974円 原価：12,596,309,518円 利益：3,039,345,941円 財務基盤の自己評価（H28年度実績） 総資産：21,593,696,521円 純資産：3,039,345,941円 自己資本比率：66.6% 流動比率：124.4% 固定比率：128.9% 総資産経常利益率：9.8% ※共同事業体の財務指標については別添資料参照 (評価点：3点)			構成企業を含め財政基盤は概ね健全であると考えられる。 (評価点：3点)		
III 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）	A	